



第 313 号

2015年(平成27年)2月1日

大臨技ニュース

〒543-0018
大阪市天王寺区空清町 8-33
大阪府医師協同組合東館 4 階
TEL.06-6763-5652 FAX.06-6763-5653
公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
発行責任者: 運天 政五郎
大臨技ホームページ URL
http://www.osaka-amt.or.jp/

渉外部 からのお知らせ

平成26年度 第2回 献血推進活動

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
評価点
日臨技生涯教育点数



皆様、極寒の献血推進活動の時期となりました。真夏とこの時期は、献血数の減少により血液製剤の適正在庫の確保が困難になっております。このような時期にこそ、医療に関わる我々が率先して献血に関わるべきであるとスタートした献血推進活動、通算43回目です。

今回も自らが献血できる方はもちろん、献血はできないけれど街頭にて市民の方への呼びかけを手伝ってくれる方など、多くの会員の皆様のご参加をお待ちしています。また、臨床検査技師養成学校の学生の皆様も、ご参加よろしくお願いたします。

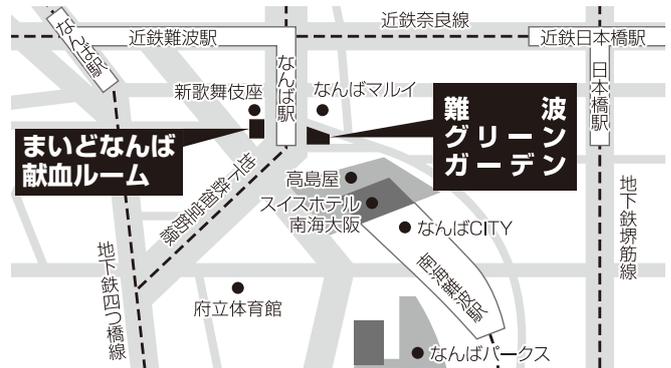
なお、会員の方は献血会場にお越しの際、行事参加受付いたしますので、大臨技献血スタッフにお声をかけていただきますようお願いいたします。

日時 平成27年2月28日(土) 10:00~16:30

会場 難波グリーンガーデン(南海難波駅北すぐ) 他献血会場
献血会場

- ① 難波グリーンガーデン 献血車(400ml採血限定)
10:00~16:30
- ② まいどなんば献血ルーム
10:30~13:00・14:00~18:30

連絡先 市立豊中病院 臨床検査部 清水 隆之
E-mail: akane@mub.biglobe.ne.jp



- ・ 献血のみ、街頭呼びかけのみでも行事参加登録いたします。
- ・ 10:00~16:30 に 難波グリーンガーデンにて行事参加登録受付いたします。大臨技献血スタッフに声をかけてください。

報告 当会の献血推進活動は「平成26年度大阪府献血感謝のつどい」(平成26年12月19日エルおおさか開催)にて日本赤十字社献血功労団体表彰(金色有功賞)を受けました。

第10回 学術部講演会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
評価点
日臨技生涯教育点数

近年、交通機関の発達により海外での感染症の恐怖にさらされることがニュース等で報告されており、不安を感じる方もおられると思います。一方、散発的に院内感染の報道がされています。

今回、誤った知識や誤解などによる感染症への不安を除くために、感染対策に精通した先生方をお招きし、感染対策への取り組み等などのご講演いただきます。みなさんふるって参加ください。

Theme 知っておきたい感染対策
(ウイルス熱への対処方法を中心に)

1. 「デング熱とエボラ出血熱
~当院での診療経験や準備態勢を交えて~
講師: 国際医療研究センター 感染症内科/
国際感染症センター 忽那 賢志
2. 「エボラ病対策とPPE」
講師: 市立堺病院 岡本 みちる
3. 「出血性ウイルス熱 ~検査部としての取り組み~」
講師: 大阪市立総合医療センター 中央臨床検査部
藤川 康則

日時 平成27年2月7日(土) 14:30~17:30

会場 住友病院 14階 会議室

参加費 会員500円 非会員1,000円
* 受付時に大臨技会員証を必ず提示してください。
会員証の忘れおよび他府県会員証では、非会員扱いになりますのでご注意ください。

連絡先 関西医科大学附属滝井病院 高田 厚照
E-mail: takada@takii.kmu.ac



生殖医療技術部会 講演会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

今回は二本立て！！生殖医療を知る上で、染色体や遺伝子は知っておかなければならないことです。染色体や遺伝子について、基本的なことを解説していただく予定です。生殖医療の現状では、不妊治療を受けられる患者さんの年齢の問題や体外受精により生まれた赤ちゃんの現状について、お話す予定です。

当講演会は臨床検査技師だけでなく、一般の方や他職種の方の参加も大歓迎！！皆さまお誘い合わせのうえ、多数のご参加をお待ちしています。

日時 平成27年2月19日(木) 18:45~20:00

会場 大阪鉄道病院 3階会議室

参加費 無料

連絡先 大阪鉄道病院 臨床検査室 内野 義彦
TEL: 06-6628-2221 (内線 5165)



ご注意 セキュリティの関係上、ご面倒ですが入館の際に守衛室で講演会参加の旨を申し出て、入館名簿に氏名等のご記入をお願いします。

1 「染色体・遺伝子の基礎」

講師：天理よろづ相談所病院 福塚 勝弘

2 「生殖医療の現状」

講師：大阪鉄道病院 内野 義彦

平成26年度 第2回 NST・褥創講演会

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

褥瘡治療に最も関連の深い微量元素は亜鉛と言われています。今回は亜鉛と褥瘡特集を企画しました。亜鉛と褥瘡の基礎、褥瘡患者様の実際のケア方法、治療の最前線を一緒に勉強しましょう。

日時 平成27年2月7日(土) 14:30~17:00

会場 多根総合病院 4階講堂

参加費 500円(一律)

定員 50名

連絡先 多根総合病院 中央検査部 堀 仁
E-mail: chuken@tane.or.jp



Theme「亜鉛と褥瘡特集」

内容

1. 臨床における褥瘡治療の最前線(仮称)
講師：多根総合病院 形成外科医 中西 新
2. 亜鉛と褥瘡
講師：ニプロ株式会社 検査商品開発営業部 米花 昇
3. 褥瘡とその皮膚ケアについて
講師：岸和田市民病院 皮膚排泄ケア認定看護師 加藤 裕子

第16回 内視鏡検査部会 講習会

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

今回は、ペースメーカーの基本(構造・種類・働き・疾患・注意・波形など)から、ペースメーカーが植込みされているときの、内視鏡処置・治療の工夫を学びます。臨床検査技師に限らず、看護師・臨床工学技士・他職種の方も、気軽にご参加ください。

18:45~19:30 第一部 「ペースメーカーのABC」

講師：大阪労災病院 臨床工学技士 山本 敬二

19:45~20:15 第二部 「ペースメーカー植込み患者の、内視鏡処置・治療時の工夫」

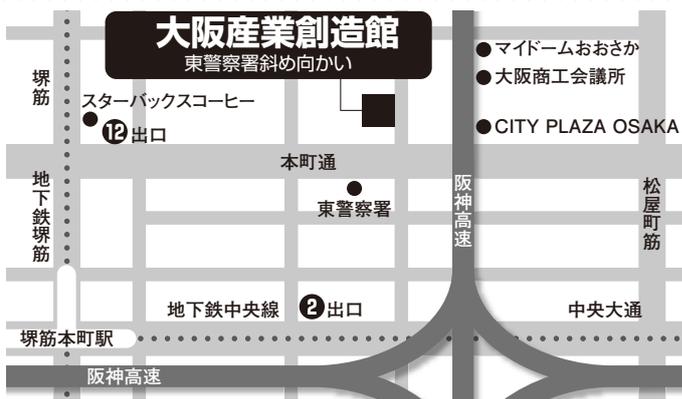
講師：内視鏡検査部会 世話人

日時 平成27年2月23日(月) 18:30~20:30

会場 大阪産業創造館 6階 会議室E

参加費 500円(一律)

連絡先 大阪労災病院 内視鏡センター 榎本(I/E) 毅
E-mail: omt21et@gmail.com(内視鏡検査部会)
TEL: 072-252-3561(内線4258)



多職種
公開講座

第26回 糖尿病療養指導士講演会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨床生涯教育点数

Theme 糖尿病診療における最近の話題

日時 平成27年2月11日(水・祝) 13:20~17:00 (受付12:45~)
会場 大阪大学中之島センター 10階ホール
参加費 500円(一律)
共催 田辺三菱製薬株式会社
連絡先 ふくだ内科クリニック 横山 有子
E-mail: ariko0219@gmail.com

13:20~13:30 開会挨拶 大阪府臨床検査技師会 会長 運天 政五郎

13:30~15:00 講演1部

1. 「次世代をつくる！『糖尿病エキスパートスタッフ養成講座』」
講師: 大阪市立総合医療センター 臨床検査技師 横田 裕香
2. 「当院における糖尿病チーム医療の実際
~糖尿病イベント“ためしたカッテン”を中心に~」
講師: 大阪市立総合医療センター 看護師 倉岡 賢治

15:00~15:20 糖尿病関連商品のご紹介

「SGLT2阻害剤カナグル錠について」
田辺三菱製薬株式会社

15:20~15:30 休憩

15:30~17:00 講演2部

「『7つの習慣』をいかした糖尿病治療」
講師: 大阪市立総合医療センター
糖尿病・内分泌センター 部長 細井 雅之



本研修会は「日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会」として、
＜第2群＞ 糖尿病療養指導研修 1単位(14-1098)
あるいは、
＜第1群＞ 自己の医療職研修単位-臨床検査技師- 1単位
どちらか一方で認定申請可能です。

地区事業部からのお知らせ

多職種
公開講座

第4回 北地区地域オープンセミナー

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨床生涯教育点数

Theme 「緊急企画！：エボラ出血熱最新情報と対応策の実際」

西アフリカで感染が広がるエボラ出血熱の感染拡大は「世界的な危機」といわれるなか、我が国でも医療機関での早急な体制の整備が必要となっています。

厚生労働省から国民に対しては、もし流行国に渡航し帰国した後、1か月程度の間発熱した場合は、保健所に連絡することを広報しています。しかし、必ずしも指定医療機関に誘導できるとは限らず、一般病院でも、その対応策を周知しておく必要があります。

そこで、昨年11月ギニアから来日した疑似症例を経験された、りんくう総合医療センターから、実際に検査業務を担当された原先生、同施設の対策責任者であり大阪府におけるエボラ対策の第一人者として厚生労働省のエボラ対策班会議委員でもある倭先生をお迎えして、体験に基づいた貴重なアドバイスをいただける機会を企画しました。他支部および他の医療職種の方々の参加も歓迎いたします。

日時 平成27年2月7日(土) 15:00~17:30

会場 大阪医科大学 P101講堂

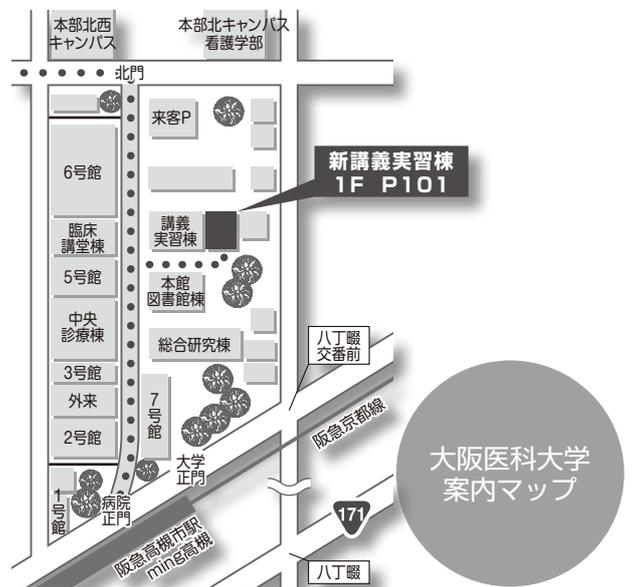
対象 医療職種
(臨床検査技師、医師、看護師、薬剤師、放射線技師等)

参加費 500円(一律)

連絡先 北地区責任者 大阪医科大学医学部附属病院 東山 智宣
E-mail: tomohigashioamt@gmail.com

緊急演題 「特定感染症指定医療機関での対応の実際
—疑似症例を経験して—」
講師: りんくう総合医療センター 中央検査科
科長代理 原 克則

特別講演 「エボラ出血熱最新情報と医療機関での対応の
ポイント」
講師: りんくう総合医療センター 総合内科・感染症
内科部長兼感染症センター長 倭 正也



大阪医科大学
案内マップ

「放射線領域の画像診断学の臨床編」

「MRIの画像診断から得られる臨床症例の解析」

講師：育和会記念病院 放射線科 技師長 渡邊 博隆
司会：大阪府臨床検査技師会 常務理事 田畑 泰弘

前回は引き続き放射線技師の方を招いて、放射線領域におけるMRIの画像を、臨床検査技師でもわかるように、症例を含めて説明していただきます。

今回は、一般撮影・CT・MRIの基礎の説明でしたが、今回は、実際の画像を元に診断・解析して説明していただきます。

我々臨床検査技師は、超音波画像からも検査結果を総合的に判断していますが、CTやMRIの画像は重要な判断材料になり、多少なりとも解析ができれば、臨床的に重要な情報が得られると考えています。放射線技師の生の声を今後の業務に生かしていただければ幸いです。

—MRI検査を中心に乳腺・心臓・消化器系の画像診断—
＜臨床検査技師が学びたい放射線領域のMRIの画像診断＞
(CT・マンモグラフィーも含む)

日時 平成27年2月27日(金) 18:30～20:00
(受付18:00～)

会場 大阪医療技術学園専門学校 2階 大教室

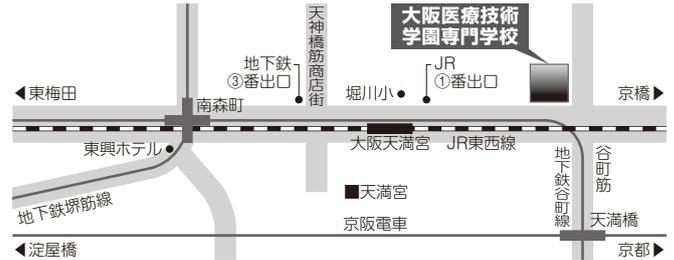
定員 60名 (資料は先着60名分のみ配布)

参加費 500円(一律)

連絡先 中央地区責任者 大阪府済生会野江病院 臨床検査科 森 啓悟

E-mail: kensa@noe.saiseikai.or.jp

TEL: 06-6932-0401(内線280)



共同開催のお知らせ

大臨技臨床検査データ標準化推進事業報告会 第31回 技師長会

大臨技標準化推進委員会・検体管理システム部門共催講演会と情報組織部第31回 技師長会を共同開催いたします。
参加対象者の役職等は問いません。

平成25年度 大臨技臨床検査データ標準化推進事業報告会

第一部

現在の医療において臨床検査データの標準化は必須の課題です。大臨技標準化推進委員会は大阪府下の各施設に対して標準化の情報提供だけでなく、精度管理で悩んでいる施設の方々と同じ視点に立って問題解決に努めていきたいと考えております。

昨年9月に第7回大臨技精度管理調査を実施しました。日臨技が進める日臨技精度保証施設認証制度に対応するため、調査項目を大幅に増やした3回目の精度管理調査となり様々な課題が出てきていると思います。つきましては標準化推進事業に参加されたご施設、この事業にご興味のある方々にご参加いただき、標準化推進事業等についてご意見を頂戴し、会員の皆様に有用なよりよい事業にさせていただきます。皆様のご参加をお待ちしております。

総論： 松下記念病院 中島 康仁
各論： 臨床化学 JCHO 大阪病院 竹村 真俊
大阪赤十字病院 山本 裕之
血 算 天理医療大学 八木 美智子

第31回 技師長会

第二部

医療現場において、医療安全を確実なものにするためには、インシデント報告とその対策が重要な鍵であることは周知のことと思います。しかし、インシデントを繰り返す(リピーター) スタッフはどう教育すればよいのでしょうか。今回この極意を伝授していただこうと考えています。

Theme 医療安全

～インシデントを繰り返すスタッフへの教育～

講師 ベルランド総合病院 クオリティ管理センター
医療安全管理室・感染管理室 室長 楠本 茂雅

司会 大阪府臨床検査技師会 常務理事 田畑 泰弘

日時 平成27年2月21日(土) 14:30～17:00

会場 宝塚大学 大阪 梅田キャンパス

参加費 会員500円 非会員3,000円

連絡先 ①大臨技臨床検査データ標準化推進事業報告会

独立行政法人 地域医療機能推進機構(JCHO)

大阪病院 中央検査室 竹村 真俊

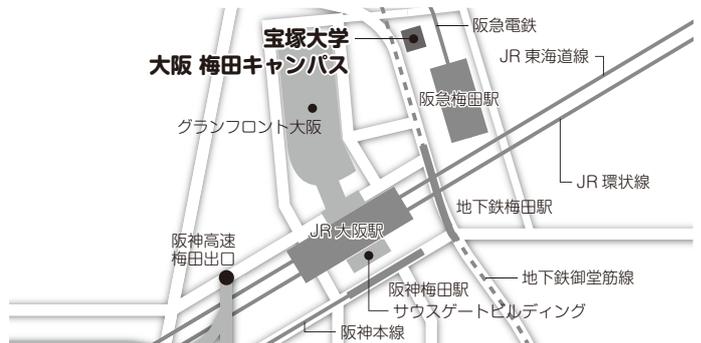
E-mail: m-takemura@okn.gr.jp

TEL: 06-6441-5451(内線2345)

②第31回 技師長会

大阪府立成人病センター 臨床検査科 井戸田 篤

E-mail: idota-at@mc.pref.osaka.jp



学術部 臨床化学検査部門 からのお知らせ

臨床化学検査部門 講演会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

Theme 「知っておきたいTDMの考え方～薬物動態を中心に～」

講師 シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社 HHS事業部 小坂 光郎

TDM (Therapeutic Drug Monitoring) には薬物の血中濃度測定が不可欠であります。必ずしも測定した薬物の体内動態をはっきり理解して測定を行っているとは限りません。

また測定方法も様々な専用分析装置や汎用分析装置で測定が行われており、機器間差が生じている事を理解しておかなければいけません。今回の講演会で血中薬物濃度についてステップアップしましょう。

日時 平成27年2月12日(木) 18:30~20:00

会場 大阪医療技術学園専門学校

参加費 会員500円 非会員1,000円

連絡先 岸和田徳洲会病院 山中 良之
E-mail: Yoshiyuki.yamanaka@tokushukai.jp



学術部 輸血検査部門 からのお知らせ

日臨技推進事業 輸血セミナー2015

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

今年度の輸血セミナーは、講演2題とシンポジウムを用意しました。講演は、遺伝子検査によるABO血液型の解析について、最近全世界的に脅威となっているエボラ出血熱をはじめとするデング熱、チクングニア熱、シャーガスなどの新興感染症について、血液センターの対応も含めてお話していただきます。

また、シンポジウムでは、このたび11年ぶりに改訂された「赤血球型検査(赤血球系検査)ガイドライン」について解説します。新しいガイドラインに沿った検査がなされているか、自施設の輸血検査方法を改めて点検するきっかけにしてみても、いかがでしょうか。皆様の参加をお待ちしています。

日時 平成27年2月14日(土) 10:00~16:00

会場 大阪医科大学 看護学部看護学科講堂

参加費 会員3,000円 非会員5,000円
※日臨技推進事業のため、日臨技会員も会員扱いです。

連絡先 大阪府済生会中津病院 深田 恵利奈
E-mail: yuketsu_osaka@yahoo.co.jp
TEL: (06)6372-0675



10:00~11:00	講演① 「ABO血液型遺伝子検査」 講師: 日本赤十字社 近畿ブロック血液センター 石井 博之
11:10~12:10	講演② 「脅威となりつつある感染症」 講師: 日本赤十字社 近畿ブロック血液センター 平山 文也
12:10~13:30	昼休憩(各自でご用意ください)
13:30~16:00	シンポジウム 『赤血球型検査(赤血球系検査)ガイドライン(改訂1版)』の解説
13:30~14:30	講演① 講師: 大阪府済生会中津病院 検査技術部 深田恵利奈
14:30~15:30	講演② 講師: 大阪市立大学医学部附属病院 輸血部 藤野恵三
15:30~16:00	総合討論

日臨技推進事業 第29回 大阪病理技術研究会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

今回は下記プログラム内容にて研究会を開催します。病理検査に関わる様々な業務を取りあげ、多くの方に関心を
持っていただける内容であり、幅広い知識の習得に役に立ちます。

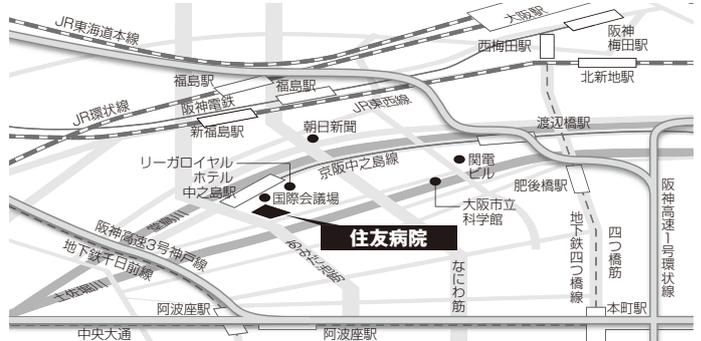
また例年同様に10数社の病理関連メーカーも資料展示参加しており、情報交換の場としても有効ですので、みなさ
まぜひご利用ください。若手の技師さんからベテランまで、病理検査に興味のある方の参加をお待ちしております。

日時 平成27年2月22日(日) 13:30~17:30

会場 住友病院 14階講堂

参加費 会員1,000円 非会員2,000円
※大臨技または日臨技会員証を必ず提示してください。
会員証の忘れと他府県会員証では非会員扱いとなります。

連絡先 星ヶ丘医療センター 臨床検査部 三原 勝利
E-mail: kattu310a@gmail.com



プログラム

13:35~13:55	1. 術中迅速組織検査のアンケート調査報告 講師: 大阪赤十字病院 病理診断科 和田 恭典
13:55~14:25	2. 病理部門のISO15189認定取得への道のり 講師: 京都大学医学部附属病院 検査部病理部門 白波瀬 浩幸
14:25~14:40	3. アルギン酸ナトリウムゲルを利用した乳腺の断端評価 講師: 北野病院 病理診断科 河野 孝志
14:55~15:15	4. ロシュ社ベンタナNX-SSでの自動特殊染色 講師: 独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 臨床検査科 植田 萌
15:15~15:35	5. ダコ Artisan Link Pro(自動特殊染色装置)の運用について 講師: 独立行政法人国立病院機構 近畿中央胸部疾患センター 臨床検査科病理 名嘉 正勝
15:35~16:05	6. 水を操って克服する薄切のアーチファクト 講師: 奈良県立医科大学附属病院 病院病理部 西川 武
16:20~16:40	7. 乳癌Her2遺伝子検査CISH法の検討ー真空パックを用いた簡便法ー 講師: 神戸学院大学栄養学部 佐々木 政臣
16:40~17:25	8. 遺伝子、FISH検査をはじめてみよう! ~検査手技の実際と応用~ 講師: 名古屋第一赤十字病院 細胞診分子病理診断部 郡司 昌治

免疫血清検査部門 定期講演会4(中級講座)

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

今年度最後の免疫血清検査部門定期講演会は、「中級講座」として少し突っ込んだ内容にさせていただきました。

免疫反応、特に抗原抗体反応では、時に「異常反応」を経験します。ところがその回避方法はなかなか成書にも詳細な記載がなく、稀なケースなどでは先輩や上司に尋ねても明確な回答が得られない場合があります。

そこで今回、大阪医大病院中央検査部の繁先生に、具体的な事例をもとに異常反応回避方法を伝授していただく予定にしています。一方、シスメックス株式会社の松崎先生には最近、上市・保険収載された新しい肝線維化マーカーについてご解説いただく予定です。

年度末が迫り、皆様におかれましてはご多忙な時期だと存じますが、何卒お問い合わせのうえ、ご参加くださいますようお願いいたします。

日時 平成27年2月25日(水) 18:30~20:00
会場 大阪市中央公会堂 B1大会議室
参加費 会員500円 非会員1,000円
定員 50名
連絡先 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 上田 一仁
E-mail:k.ueda@ashiya-hosp.com



18:30~19:00
免疫学的異常反応の回避方法
講師: 大阪医科大学附属病院 中央検査部 繁 正志

19:00~20:00
糖鎖マーカーを用いた肝線維化検査技術について
講師: シスメックス株式会社 IC-PE 商品開発グループ 松崎 英樹

access 地下鉄御堂筋線「淀屋橋」駅下車 1番出口から徒歩約5分
京阪電鉄「淀屋橋」駅下車 18番出口から徒歩約5分
京阪電鉄中之島線「なにわ橋」駅下車 1番出口すぐ

学術部 微生物検査部門 からのお知らせ

微生物検査部門 定期講習会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
◀評価点▶
日臨技生涯教育点数

Theme

症例発表等

講師 部門世話人

2014年の最終定期講習会は、例年通りミニ学会を開催いたします。今回で3回目になりますが、今年も新たな演題を発表する予定です。

一度はどこかの学会で、見聞きしたことある演題が中心になりますが、学会とは違い講習会での発表でありますので、参加者の皆様も気軽に質疑ができる場となっております。皆様のご参加をお待ちしております。

日時 平成27年2月26日(木) 18:30~20:00

会場 大阪医療技術学園専門学校 2階大教室

参加費 会員500円 非会員1,000円

* 受付時に大臨技会員証を必ず提示してください。
会員証の忘れおよび他府県会員証では、非会員扱いになりますのでご注意ください。

連絡先 大阪赤十字病院 臨床検査科部 市村 佳彦
E-mail: y.ichimura.orc@gmail.com

微生物検査部門



H27年の4月末に研修会を予定しております。内容は、耐性菌の検出方法やその判別についての基礎知識等、近年CREなどの耐性菌が話題となっておりますが、それらをいかに見つけられるかを中心とし、実習を兼ねた研修会を企画しております。詳細等は、来月号以降に掲載予定です。

学術部 一般検査部門 からのお知らせ

一般検査部門 スライドカンファレンス



評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
◀評価点▶
日臨技生涯教育点数

今年度最後の一般検査部門研修会は、NHO 東近江総合医療センターの佐伯先生による「スライドカンファレンス」を開催いたします。

今年一年の総まとめとして、基本的なものから珍しいものまで、一般検査における様々な成分を写真を見ながら解説します。重要となる所見、鑑別のポイント、見逃さないためのテクニックなどを復習する機会ですので、これから一般検査を始める方ももちろんのこと、知識を再確認したい方、さらにスキルアップをはかりたい方など、多くの方のご参加を心よりお待ちしております。

Theme

「スライドカンファレンス」

講師 NHO東近江総合医療センター 研究検査科 佐伯 仁志



日時 平成27年3月4日(水) 18:30~20:30

会場 クレオ大阪中央 セミナーホール
(大阪市営地下鉄「四天王寺前」夕陽丘駅)下車 徒歩5分)

参加費 会員500円 非会員1,000円

連絡先 大阪大学医学部附属病院 医療技術部検査部門 堀田 真希
E-mail: masakina@pop.dc5.so-net.ne.jp

1 第39回豊中市市民健康展に参加して

2014年(平成26年)10月5日、豊中市中央公民館・アクア文化ホールにて開催された第39回市民健康展に参加しました。今年度は大腸がん・前立腺がんの検診啓発パネル展示を行いました。両者とも近年増えてきているがんであり、根治させるためには早期発見・早期治療が重要です。そのため検診を受けることの重要性やその内容などを知ってもらうこと目的として行いました。更に新たな試みとして簡単なクイズとアンケートを実施しました。これまではパネル説明と資料配布に力を注いでいたが、これらを実施することで来場者と話す時間が大幅に増えました。そのため配布物は余ってしまいましたが、直接会話をすることによって病気の症状や特徴、検査内容について知ってもらえ、啓発運動としてとても効果的であったと感じました。

しかし課題もいくつかありました。今回はパネルを見に来られた方、一人一人に手渡しをしていたため、まずパネルを見てもらわなければクイズとアンケートを実施できませんでした。また、一緒にクイズを解いたり、説明を

していたりしていると対応に時間がかかり、パネルを見に来ていただいてもアンケート用紙を渡せない方も出てしまい、実施できたアンケート数は20枚と非常に物足りない結果となってしまいました。

今回は①パネルにクイズを掲載し、見ながら解ける形式にする。②クイズを解いてもらうと景品を渡す。③説明は用紙にまとめて配布する。などの変更を検討していきたいと考えています。

来場者には検診を受けている方、受けていない方が半々という印象でした。受けていない方は、「受けないといけないと思っているがなかなか」という方が多く、「ここで検査を受けられるのか」と質問される方もいらっしゃいました。今回までは資料を渡して後は各自にお願いするという形でしたが、今後は検診に直結できるような啓発活動をしていきたいと思えます。また、受けていても検査の意味をよく知らない、という方もいました。このような声を聞いていると、今回のような啓発活動、検診内容説明を行っていくことは、これからも必要なことだと思いますので、今後も積極的に参加していきたいと考えています。

森山 雄平 / 齊藤 直輝 / 長岡 由紀子 / 上山 峰子

2 HIV予防啓発講演会

平成26年11月15日(土)に大阪医療技術学園専門学校においてHIV予防啓発講演会を開催しました。参加者の質疑では、学生の方から一般的な質問や学術的な質問もあり、講演会は好評でした。このような講演会を開催することによってエイズに対する誤解や偏見を少しでも無くせるよう、今後もHIV予防啓発事業に取り組んでいきます。

2年生 杉本 愛鐘

HIVについてざっくりとした事しか知らなかったが、検査法には抗体ができるまでの時期に適しているNAT検査や抗体ができてからの時期に行われるウエスタンブロット法があり、それぞれのコストや感度、特異度での違いをよく知ることができて勉強になった。一番驚いたことは抗HIV剤についてだった。初めて開発されたAZTからはじまり様々な薬ができてきているが、2002年まではウイルス量を減らすこともCD4細胞数を増やすこともあまり効果がみられなかった。しかし、2002年から急激にウイルス量の減少、CD4細胞の増加がみられ、治療がとてもよくなった。コストが高いが、抗HIV剤治療による感染拡大阻止など予防効果にもつながっていると感じた。

HIVはとても変異しやすいので、ワクチンの開発は困難であるそうだが、いつかできるといいなと思った。HIVについて理解が以前より深まりよかった。

2年生 道井 千晴

HIV予防啓発講演会に参加させていただき、大変勉強になりました。HIVについて学内の授業で勉強はしてきましたが、最近のHIV患者の現状などが知れて勉強になりました。

これからもHIVについて学んでいき今後の予防策などが考えられるような臨床検査技師になりたいと思いました。貴重な発表ありがとうございました。今後、このような講演会があれば、ぜひ参加したいと思えます。



3 全国検査と健康展・がん検診フォーラム

去る平成26年12月6日(土)、大阪府医師協同組合新本部ビル7階にて、平成26年度「全国検査と健康展」を開催しました。今年度は「検査と健康展」の中に、がん予防啓発に関するフォーラムを組み入れ、フォーラムを行う講演会場と検査体験コーナーや検査相談コーナー、健康ポスター・パネル展示を行う検査展会場の2会場で開催しました。

講演会場では、「第5回がん検診フォーラム」として「知って得する「肺がん」のこと」をテーマに、第1部では国立病院機構近畿中央胸部疾患センター 臨床検査科 寺本友昭技師、第2部では大阪府立成人病センター がん予防情報センター疫学予防課長 中山富雄先生に講演していただきました。本年も日本臨床細胞学会大阪府支部細胞検査士会後援のもと、細胞検査士研修会参加単位が認められました。

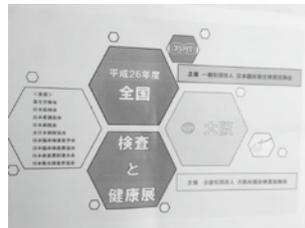
検査展会場ではがん検診啓発パネル展示とともに、検査体験コーナーとしてスパイロメーターを用いた肺年齢測定、左手薬指先の皮膚下毛細血管を観察する「血管美人」、老化を進める原因物質として注目されているAGE



(終末糖化産物)の測定による細胞年齢測定を行いました。さらに検査相談コーナーは市立岸和田市民病院 杉山技師に担当して頂き、実りある「検査と健康展」となりました。府民の皆さんにはがん検診の重要性とともに、臨床検査に携わる臨床検査技師の業務の一端も知っていただけたのではないかと思います。

厚生労働省はがん検診の受診率を50%以上とすることを目標にがん検診を推進していますが、大阪府のがん検診受診率は全国的にみてかなり低いのが現状です。

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会では、「検査と健康展」の中で「がんの検査に携わる臨床検査技師」として、がんの早期発見に繋がるがん検診の重要性を府民の皆さんに引き続き啓蒙していきたいと考えています。



大臨技北地区自由集会 報告

平成26年10月18日大阪医科大学で開催された「あなたもできる検査説明」に参加された3名の方に率直な感想をいただきましたので紹介します。

10月18日に大阪医科大学、学1講堂にて「あなたもできる検査説明」北地区自由集会が開催されました。実際に活動している大阪医科大学、大阪府立成人病センターは患者説明・相談を実施して行く施設のお手本となる活動内容でした。

今後、大臨技の活動を踏まえ、イメージでき、大変参考になりました。また、淀川キリスト教病院の講師の先生からは、患者に誤解を与えない検査説明について話され、この活動に求められる知識とスキルを身に付け、今後の活動につなげる必要性を感じました。

国立病院機構大阪医療センター 新田 幸一

会場に入ると満席で他府県や遠方からの参加もあり、資料も足りない状況でした。またこのような説明業務に携わっている技師も多く、実際の話を書けるということで皆さんの関心の高さも感じることができました。私自身は普段、病理業務に携わっており「検査説明」って実際どういうことをするんだろうという気持ちで講師の方の話を聞きました。



患者さんの疑問に答えたり、結果説明ができる環境をつくることは信頼関係をつくりあげていくうえで必要であるなど感じました。しかし、検査部門が単独でできることではなく医師・他のスタッフとの連携の必要性があると思いました。

高槻赤十字病院 廣田 智美

今後、臨床検査技師が検査説明を行うということで、今回北支部の自由集会に参加させていただきました。自由集会で、なぜ臨床検査技師が検査の説明を行うのか、他施設が現状のように行っているのかを知ることができました。そして、今後検査説明を行っていくうえでの課題についても確認することができた勉強会でした。

臨床検査技師として患者様にわかりやすく検査説明するためにさらに知識とコミュニケーション能力を磨いていこうと思います。

神戸大学医学部附属病院
小谷 真基



平成27年度日臨技近畿支部医学検査学会（第55回）事務局からのお知らせ

平成27年度日臨技近畿支部医学検査学会（第55回）実行委員会 担当者

特別企画の内容決定！

12月13日（土）に関西医科大学附属滝井病院においてシンポジウム打ち合わせ会議ならびに第2回3団体合同打ち合わせ会議（第58回日本臨床検査医学会近畿支部総会、第35回日本衛生検査所協会近畿支部学術研究発表会）が行われました。

各部門の特別企画の内容も決まり、これから学会準備が本格的に始まります。特別企画の内容につきましては、順次掲載していく予定です。今月は学会実行委員会担当者をお知らせします。

担当	氏名	大臨技役職	所属施設等
学 会 長	運天 政五郎	会 長	日本臨床衛生検査技師会
副 学 会 長	竹浦 久司	副会長(事業局長)	きつこう会多根総合病院
実 行 委 員 長	吉本 勝美	副会長(事務局長)	仁真会白鷺病院
副 実 行 委 員 長	高田 厚照	常 務 理 事	関西医科大学附属滝井病院
事 務 局 長	清水 隆之	理 事	市立豊中病院
事 務 局 次 長	酒井 正容	理 事	生長会府中病院
学 術 部	宮野 章 (部長)	理 事	大阪府立母子保健総合医療センター
	山西 八郎	理 事	天理医療大学
	増田 詩織	理 事	近畿大学医学部附属病院
施 設・展 示 部	田畑 泰弘 (部長)	常 務 理 事	育和会記念病院
	出野 憲由	理 事	大阪労災病院
	後藤 真理子	理 事	大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター
広 報 部	栗本 幸司 (部長)	理 事	竹村医学研究会小坂産病院
	山田 真規子	理 事	サイトサポート・インスティテュート株式会社
	久保田 芽里	理 事	近畿大学医学部附属病院
会 計 部	荒木 年夫 (部長)	常 務 理 事	株式会社大阪血清微生物研究所
	栗本 誠一	監 事	日本医学株式会社
	柴 芳浩	監 事	柴 芳浩会計士補事務所
庶 務 部	井戸田 篤 (部長)	理 事	大阪府立成人病センター
	杉山 昌晃	理 事	市立岸和田市民病院
	岩崎 和子	事 務 職 員	
	出口 由紀子	事 務 職 員	

学会まで あと9ヶ月・・・・・・・・・・・・・・・・

タイ王国からの研修生



学校は、年度を締めくくる国家試験の時期となり、最終学年の学生さん達は、最後の追込みに全力を尽くしていることと思います。

昨年11月27日、タイ王国 マヒドール大学 臨床検査部より、2名の女子学生（Pirunthongさんと Khotchapamさん）が当校へ研修に来られました。同大学では、学部4回生を対象に成績優秀者20名程がアジア各国で学び、見聞を広めることを支援しているとのこと。宝塚大学近藤先生からのご紹介で、血液検査学の凝固系の実習を学生と一緒にすることになりましたが、言葉の壁など心配な面も多々ありました。でも、私達は無口になる一方、実習が始まれば学生同志すぐに打ち解け、ジェスチャーも入れながら、逆に教えてもらったりもしながらの楽しい実習風景となりました。

タイ王国の教育は、文科省管轄教育機関の4年制大学（Medical Technologist）と保健省管轄の養成校で2年制教育（Medical Laboratory Technician）があるそうです。

学生の感想は、“研修生との交流はとても刺激になり、改めて、医療の分野は全世界共通であるという認識と、貴重な体験ができ大きな財産となった。”“研修生の方は、スラスラと話すのですが、片言の英語しかできない私達は、コミュニケーションが難しく語学力の差を感じた。でも実習における手技では、日本人の方が丁寧であるように感じた。”などです。

今後とも、このような国際交流の機会があれば、ぜひ続けさせていただき、両学生とも少しでもグローバルな視野で見聞を広めてもらえたらと思います。

Medical field is common around the world!

Let's become a medical technologist who can work worldwide.

大阪行岡医療専門学校長柄校 小市 加陽子



特別研究・病院実習の紹介

私は大阪大学保健学科検査技術科学専攻の4回生です。3回生までは、主に、一般教養、専門科目の授業、実験を受け、たくさんのことを学びます。4回生ではそれまでに得た知識を生かして、特別研究、病院実習を行います。特別研究、病院実習について詳しく紹介したいと思います。

4回生から研究室に配属され、特別研究を行います。私は神経生物学研究室に所属しています。数々の臓器の病態が解明される中で、未だ解明されていない神経疾患に焦点をあて研究を行っています。4回生の半年間の研究成果は、特別研究発表会にて、教授、検査の学生の前で発表を行います。質疑応答の時間も設けられており、学会発表のような体験をすることができます。

また研究室では、毎週金曜日に全員集まっての勉強会を開き、論文の抄読と研究成果の発表を行っています。論文の抄読では、お互いの意見を論議し、有意義なものになっています。研究成果の発表では、他の研

究室のメンバーの研究内容もよく理解できるようになります。

先生、先輩方はとても気さくなかで、研究指導も丁寧にしてくださいませ。飲み会、BBQなどのイベントもたくさんあり、楽しい研究室生活を送っています。

4回生の後期からは大阪大学医学部附属病院で病院実習を行います。今まで学んだ知識や技術をもとに、実際にプロの検査技師から指導、助言を受けながら、より具体的に実施するものです。実際の臨床現場に携わり、臨床検査技師が病院でどのように患者さんに貢献していけるか、それと同時に医療に携わることの厳しさも知ることができとてもいい経験になりました。測定機器の操作方法や、データの見方、管理方法など、学ぶことは多く、毎日がとても充実していました。約3か月間の実習でしたが、あっという間の期間でした。

この4月から、地元の大学病院で臨床検査技師として勤務することになりました。大学生活4年間で学んだことをフルに生かしていきたいと思っています。

大阪大学医学部保健学科 検査技術科学専攻4年生
山川 朋世

平成26年度 大臨技施設連絡者会



評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

日時 平成27年3月4日(水) 18:30~20:00

会場 大阪産業創造会館

参加費 無料

連絡先 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 臨床検査科
後藤 真理子
E-mail: gotoum@opho.jp
TEL: 072-957-2121 (内)3190

- 1 日臨技報告
大阪府臨床検査技師会 会長 運天 政五郎
- 2 大臨技報告
大阪府臨床検査技師会 常務理事 田畑 泰弘
- 3 講演:検査説明・検体採取等について(予定)
(講師:未定)

大臨技事務局からのお知らせ

■ 大臨技退会申請について

平成26年度末で大臨技退会を希望される方は、**平成27年3月31日までに退会申請を行ってください。**大臨技ホームページより「退会届」をダウンロードし、必要事項を記入の上、**大臨技事務局まで提出してください。**

※【重要】日臨技にも入会されている方は、**日臨技と大臨技の両会に退会申請してください。**

■ 平成26年度大臨技会員証について

平成26年度分の会員証の発行は10月発行分をもちまして終了いたしました。

11月以降は、「**会員登録証明八ガキ**」を会員証の代わりとして発行しています。

■ 会員証の再発行について

紛失等により再発行を希望される場合は、大臨技ホームページより「**大臨技会員証再発行申請書**」をダウンロードし必要事項を記入の上、**大臨技事務局に届けると共に、再発行費500円を郵便局より納入してください。**申請書と再発行費の入金確認後、発行します。

再発行日程は、会員証発行日程に準じます。11月以降は、「**会員登録証明八ガキ**」を会員証の代わりといたします。

■ 臨床検査技師免許申請中の新入会員の方へ

臨床検査技師免許の取得後、速やかに大臨技ホームページより「**臨床検査技師免許証番号 届出書**」をダウンロードし、必要事項を記入の上、当会事務局まで提出してください。届出後、正会員として正式登録されます。

※【重要】届出が無い場合は、**翌年3月末日で除籍扱いとなります。**

■ 施設・技師会・住所等の変更について

所属施設や所属技師会の変更、転居による住所の変更などが生じた場合、速やかに大臨技ホームページより「**会員異動届**」「**施設登録用紙**」をダウンロードし、必要事項ご記入の上、当会事務局まで提出してください。送付先が不明な場合、大臨技ニュース等の送付物が届かなくなります。

質問・ご不明な点がございましたら、当会事務局までご連絡ください。

大臨技理事会報告 Executive board report

平成26年度 第9回(12月11日)開催分

1. 検体採取に関する厚労省指定講習会について

- ・ 日臨技近畿支部において、1クール目の講習会を平成27年1月から3月にかけて関西医科大学枚方キャンパス加多乃講堂で3回開催する。
- ・ 実務担当責任者、実務委員および講師3名以上を大臨技担当で決めることとなり、関西医科大学のスタッフを中心に依頼することとした。
- ・ 平成26年度第11回理事会(平成27年2月12日)の開催前に、大臨技事務局において日臨技担当理事が当講習会についての説明会(30分~1時間)を開催することとなった。

2. 大阪府地域推進医療協議会の決議案について

12月8日(月)に開催された大阪府地域推進医療協議会における決議として、政府へ公的医療保険給付範囲の縮小が進められることに断固反対する要望を出すこととなった。

3. その他

- 1) 共催に関する申請について
 - ・ 情報組織部チーム医療部門糖尿病療養指導士部より第27回糖尿病療養指導士講演における共催申請が提出され、承認された。
- 2) 日臨技・日臨技連盟からの依頼について
 - ・ 日臨技より検体採取に関する厚労省指定講習会のリンク用バナーボタンを大臨技ホームページへの設置依頼があり、承認された。
 - ・ 日臨技連盟より日臨技連盟ホームページのリンク用バナーボタンの大臨技ホームページへの設置依頼があり、承認された。
- 3) 日本臨床検査同学院からの依頼について
 - ・ 日本臨床検査同学院から下記内容の大臨技ホームページへの掲載要請があり、承認された。
 - ① 日本臨床検査医学会・日本臨床検査同学院共催
平成27年(第102回)二級臨床検査士資格認定試験案内
平成27年(第37回)緊急臨床検査士資格認定試験案内
 - ② 日本臨床検査医学会・日本遺伝子分析科学同学院共催
平成27年(第9回初級・第4回一級)遺伝子分析科学認定士認定試験案内

大臨技事務局からのお知らせ

当会は日臨技と大臨技の両会への入会を推奨します！
会員の皆様に対し、大臨技は身近な教育により、日臨技は学会や認定技師制度などを通じ、
それぞれの立場から人材育成や職域拡大の役割を担います。

※日臨技に「再入会」される方は入会金の2,000円は不要となります。
 日臨技ホームページにて「会員情報変更」→「入会申込」→「入会専用ページ」からお手続きください。

■平成27年度「大臨技臨床検査技師賠償責任保険」（大臨技のみの会員専用）について
 平成27年度「大臨技臨床検査技師賠償責任保険」は、平成27年4月1日からの加入となります。平成27年度「年会費」納入の際に加入手続きをお願いします。

※申込みには、「保険加入依頼書」の提出と保険料納入の両方が必要です。両方を確認しましたら、加入手続きを行います。

※大臨技臨床検査技師賠償責任保険への加入は、年毎に申し込みが必要です。

※一旦納入された保険料は返金出来ませんのでご注意ください。

■平成27年度「年会費」納入について

日臨技・大臨技の両方に入会されている方と大臨技のみに入会されている方とは、会費の金額や納入方法が違いますので、ご注意ください。詳細は大臨技ホームページをご覧ください。

※【重要】大臨技ニュース、大臨技ホームページを熟読のうえ、対応をお願いします。

日臨技・大臨技の両方に入会されている方は、日臨技へお問合せください。

1. 日臨技および大臨技に入会されている方

日臨技年会費10,000円と大臨技年会費5,000円を合算した15,000円が、日臨技に登録の振替口座から引き落とし（平成27年2月27日予定）されます。

2. 大臨技のみに入会されている方

郵便局に備え付けの「払込取扱票」（白地に青枠の用紙）に、必要事項を記入し、**大臨技年会費5,000円を平成27年2月28日までに**
お振込ください。2月28日までに納入されましたら平成27年度 大臨技会員証を4月中にお届けできます。それ以降に納入されま
 すと会員証の発送が遅れますのでご注意ください。

Personal Use

あなたの「いつも」を快適に。

シンプルな操作で血糖測定を実現 経済性にも配慮しました

自己検査用グルコース測定器

ツールピコ

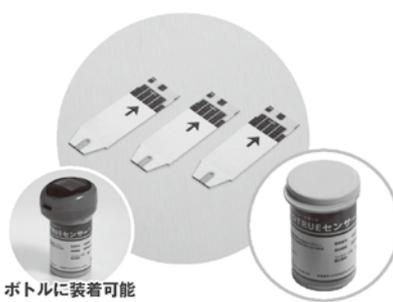
ニプロTRUEpico®



自己検査用グルコースキット

ツール

ニプロTRUEセンサー®



特長

- 必要血液量:0.5μL、測定時間:約4秒
- 測定範囲:20~600mg/dL
- 小型・軽量(17g)
- 初期設定不要(時刻合わせや環境設定がありません)

■ニプロTRUEpico® 医療機器承認番号:22500BZX00118000 高度管理医療機器(クラスⅢ)、特定保守管理医療機器
 ■ニプロTRUEセンサー® 医薬品承認番号:22500AMX00894000

単回使用自動ランセット

ニプロLSランセット



■医療機器認証番号:224AA8ZX00195000
 管理医療機器(クラスⅡ)

○使用上の注意等につきましては、添付文書をご参照ください。



NIPRO

製造販売

ニプロ株式会社
 大阪市北区本庄西3丁目9番3号

製品に関する
 お問い合わせ先

やさしい ニプロ
 ☎0120-834-226

9:00~17:30(土・日・祝祭日を除く)

※電話番号をよくお確かめの上、お掛けいただきますようお願い致します。

2013年8月作成

皆様のご意見、情報等お待ちしております。

FAX:06-6763-5653 E-mail:webmaster@osaka-amt.or.jp

郵送の場合は大臨技事務局までご送付ください。

平成27年3月号の原稿メ切は**2月3日(火)**、4月号は**3月4日(水)**です。